



なぜ、今 「脳卒中・循環器病対策基本法」が 必要か

脳卒中・循環器病は日本国民の**脅威**です

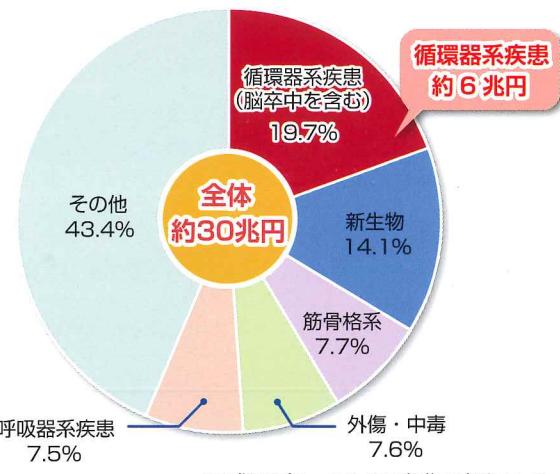
「健康寿命の延伸、医療費・介護費の削減」を実現するために
以下のような対策が必要

- 脳卒中・循環器病で年間33万人が死亡している
- 超高齢化で患者数が増加する一方
- 脳卒中・循環器病に関わる医療費は全体の20%、6兆円。増加の一途

- ↓
- 救急治療とリハビリテーションで生活の質を大きく改善できる
 - 脳卒中対策をすることにより、寝たきり・認知症対策になる
 - 予防法の普及で発症が減らせる



医科診療医療費に占める循環器病の割合
—医療の質を落とさない医療費削減—



脳卒中分野

脳卒中の3つの大問題

寝たきり

寝たきり原因の
3割以上
(認知症を含めると6割)

認知症

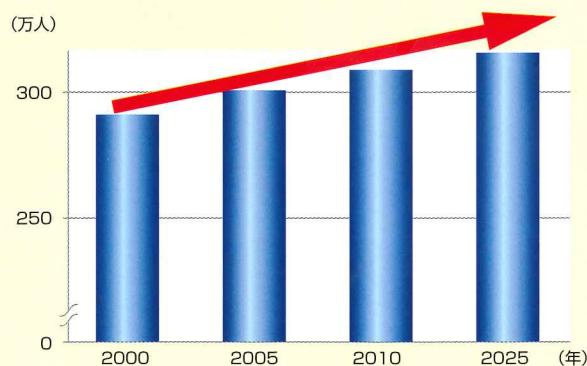
原因の**約2割**は脳卒中
脳卒中予防は
アルツハイマー型認知症
の予防に繋がる

社会負担

医療費 **約1兆7千億円**
介護費 **約1兆9千億円**
患者は250万人以上
年間12万人が死亡

命と暮らしを直撃する病気である

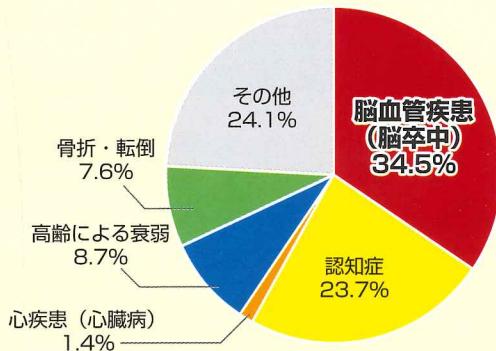
我が国の脳卒中患者数の推計



推計患者数(2010年)

- ・発病者数 291,000人/年
 - ・**有病者数*** 約3,100,000人
 - ・要介護者数 約1,850,000人
- 鈴木一夫: 日本臨牀 64: 32, 2006
今後ますます増加し、入院期間も長く、医療費、介護費も増加する。
*年間発病者数と後遺症患者数の総数

我が国における寝たきりの原因



寝たきり(要介護5)の原因

- ・3割以上は脳卒中が原因
- 平成25年(2013年)国民生活基礎調査より作図
- ・認知症の1/4以上は脳卒中に関連
 - ・脳卒中の予防は、認知症の6割を占めるアルツハイマー型認知症の予防にも貢献
- 認知症疾患診療ガイドライン2017

脳卒中の予防と後遺症の軽減には 知識の普及が不可欠

そのためには…

- 教育・市民啓発による予防と発症時対応教育
- 治療体制の整備による救命と後遺症の軽減、再発予防
- 連携による継ぎ目のないサポート
- 患者・家族支援による社会復帰の促進

その結果として…

- 後遺症の軽減・健康寿命の延伸
- 医療費・介護費・国民の負担の軽減

患者の声



知識がないから、「こんなことが起きたら、それは脳卒中!人生の崖っぷち」と気づけない。だからすぐ病院に行かないで様子を見てしまう。
啓発によって、後遺症を持つ患者を減らすことができるはずです。それは職場に復帰できる人を増やすこともあります。

家族の声



家族の精神的、肉体的、経済的負担が大きく、自分の時間も制約され、介護負担感がとても大きいです。

循環器病分野

循環器病※ 4大疾患

心不全

5年間の**死亡率50%**
心臓の働きが
だんだん
悪くなる病気

急性心筋梗塞

**突然死や
心不全の**
原因となる病気

大動脈解離

動き盛りの
命を突然奪う
危険な病気

不整脈

**脳卒中や
突然死の**
原因になる病気

※循環器病とは、心臓と血管の病気のこと

命に関わる病気である

心不全は年々新規発症数が
増えており、「**心不全パンデミック**」
状態にある。
心不全になると入退院を繰り返すことが
多く、本人はもとより
家族・社会の負担も大きい。

心不全は突然死のリスクも抱える、"たちの悪い"病気。
治療には**多大なるコスト**かかる。

**脳梗塞の1/3は
不整脈(心房細動)**
が原因となっている



心臓病は予防ができる

そのためには…

- 啓発活動 ■検診システムの充実
- 心臓リハビリの普及 ■新しい治療法の開発
- 治療の均てん化、救急治療の拠点化、疾病登録

その結果として…

- 健康寿命延伸 ■生活の質向上
- 医療費の節減 ■要介護の減少

我が国における心不全患者

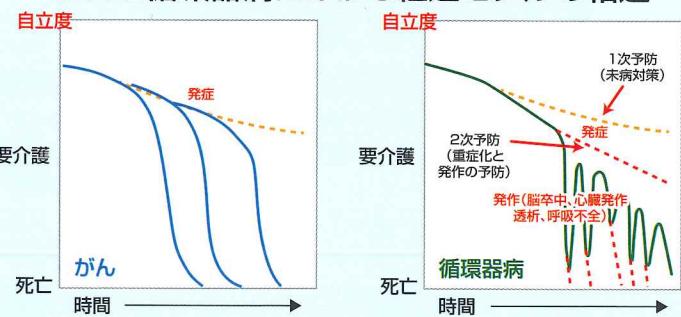
日本の心不全患者数
約100万人



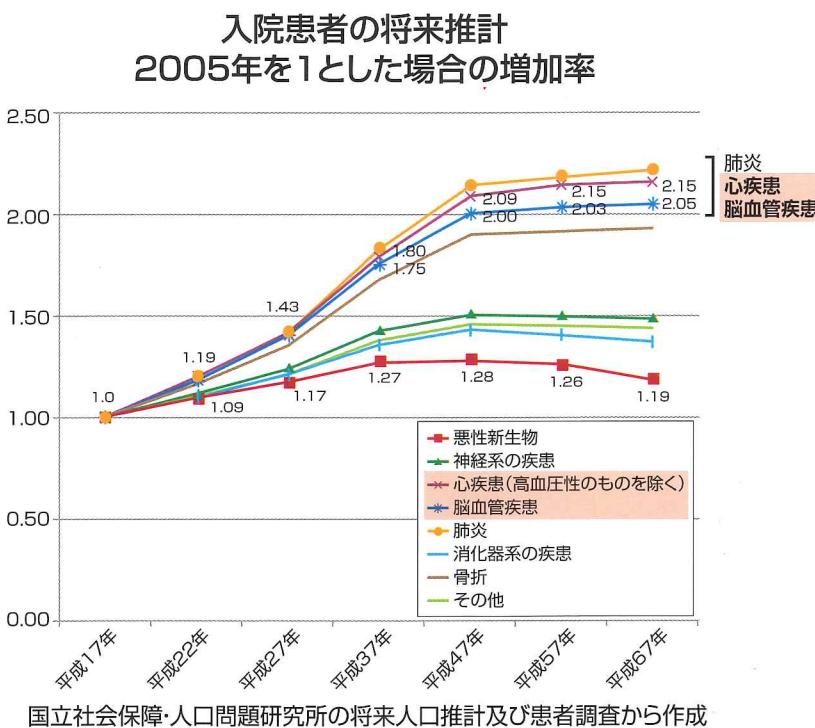
先進国ばかりでなくアジア・アフリカの諸国でも心不全患者が急増している
Okura Y 他: Circ J: 2008より作図

2025年には
新規心不全は
約37万人発症

がんと循環器病における経過モデルの相違

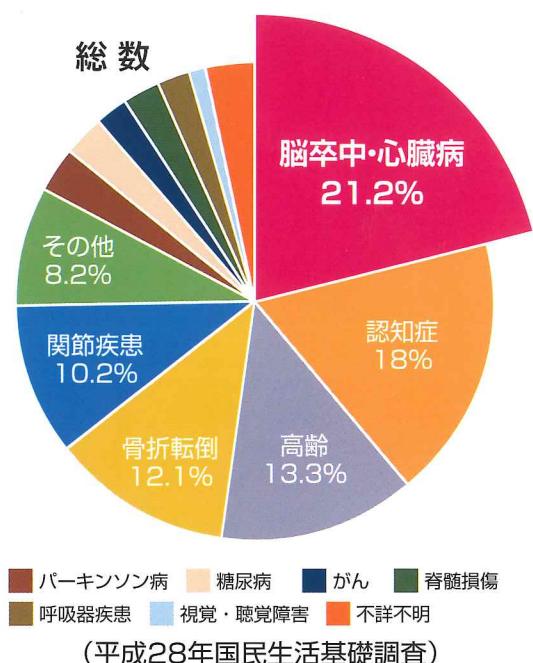


■ 増加する社会保障費の節減



■ 要介護者の減少

脳卒中・循環器病は要介護・要支援の原因の**21%**を占めている。



■ 法律が制定されると…

- 繼続した国民啓発により**脳卒中・循環器病が予防**できる
- 救急治療とリハビリテーションの普及により**健康寿命**が延びる
- 新しい**治療法の開発**ができる
- 脳卒中・循環器病の発症・治療・患者の状況を把握し、**疾病対策を改善**できる
- 要介護者を減らし、**医療費・介護費を削減**できる

これからの超高齢社会に向け、国民へのより良い医療の提供を目指して

脳卒中・循環器病対策基本法の制定を求めます。



脳卒中・循環器病対策基本法の成立を求める会

■ 代表 山口 武典(公益社団法人日本脳卒中協会) 矢崎 義雄(公益財団法人日本心臓財団)

■ 公益社団法人日本脳卒中協会
〒545-0052
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-3-15
共同ビル
TEL: 06-6629-7378
<http://www.jsa-web.org>

■ 公益財団法人日本心臓財団
〒163-0704
東京都新宿区西新宿2-7-1
小田急第一生命ビル4F
TEL (03) 5324-0810
<http://www.jhf.or.jp>

■ 一般社団法人日本循環器学会
〒100-0011
東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0861
<http://www.j-circ.or.jp>